



環境省 子どもの健康と環境に関する全国調査



福島ユニットセンターの 現状と実施体制



エコチル ふくしま

～福島の子どもの健やかな成長のために～

エコチル福島ユニットセンター

Japan Environment & Children's Study

■ エコチル調査の経緯 ■

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ●H18 | 小児の環境保健に関する懇談会提言 |
| ●H19 | 小児環境保健疫学調査に関する検討会設置 |
| ●H20～H21 | ワーキンググループ立ち上げ、パイロット調査の実施 |
| ●H22. 1. 12～15 | ユニットセンター公募 |
| ●H22. 3 | エコチル調査基本計画を公表 |
| ●H22. 4. 12 | 全国15ユニットを選定 |
| ●H22. 8. 10 | 研究計画書第1版完成 |
| 各倫理委員会承認（環境省、国立環境研究所、福島県立医科大学、協力医療機関） | |
| ●H23. 1. 24 | 参加者登録（リクルート）開始 |
| ●H23. 3. 11 | 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故 |
| ●H23. 12. 20 | 平成23年度4次補正予算案において、エコチル調査と福島の県民健康管理調査と統合的分析などが行えるシステム経費を計上 |
| ●H23. 12. 24 | 平成24年度予算案において、福島におけるエコチル調査を全県に拡大するための経費を計上 |
| ●H24. 6. 12 | 福島県民健康管理調査検討委員会で福島県民健康管理調査の基本調査における外部被ばく線量推計データのエコチル調査へのデータリンクを了承。福島医大としてエコチル調査の全県化拡大での実施について了承。 |
| ●H24. 9. 3 | エコチル調査郡山事務所開所 |
| ●H24. 10. 1 | エコチル調査の全県下での実施開始 |

【放射能漏れ】

妊婦の被曝リスク解析 環境省、胎児期から追跡調査

2011.12.20 14:24 【放射能漏れ】

細野豪志環境相は20日の閣議後会見で、健康への化学物質の影響を胎児期から追跡して調べる「エコチル調査」の中で、福島県の妊婦に関する推計被曝線量データの提供を受け、放射線の健康リスクについても解析すると発表した。

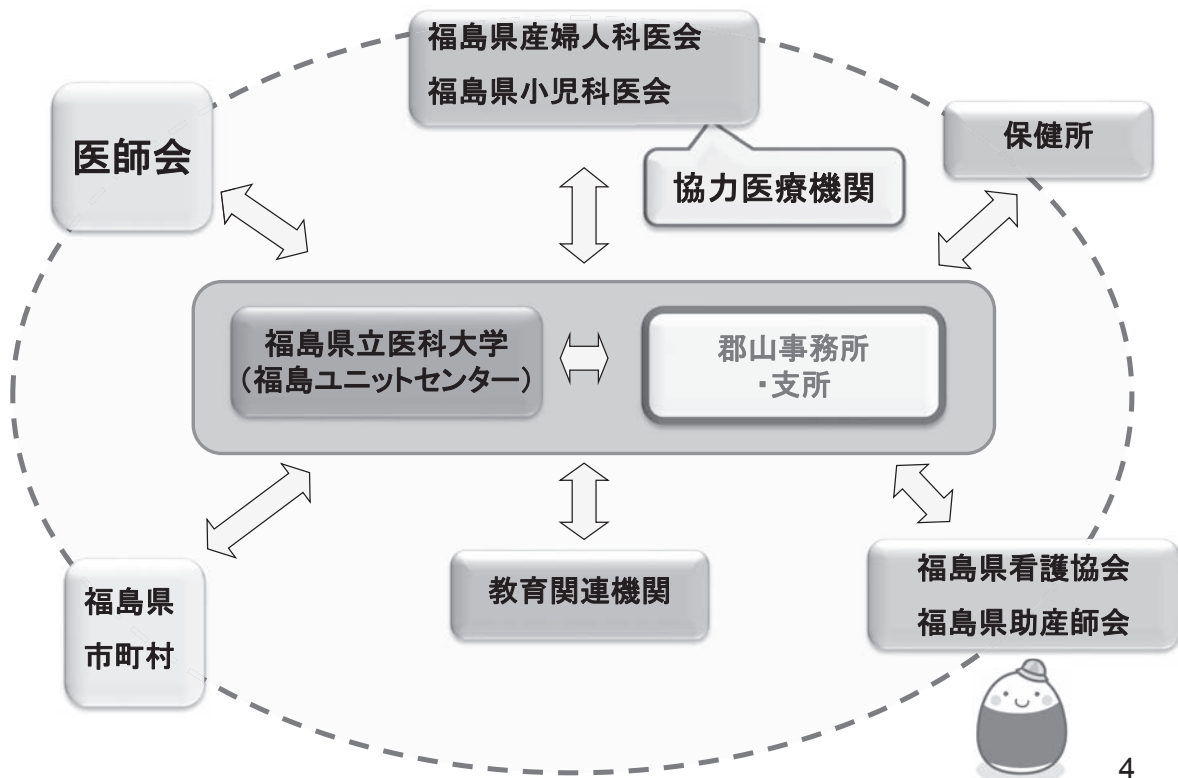
同日閣議決定された平成23年度第4次補正予算案で16億円を計上。データシステムの整備などに充てる。

エコチル調査は、子供の病気や健康に化学物質が与える影響について、胎児期から13歳になるまで定期的に追跡する調査。全国15の調査地区で今年8月以降出産の妊婦を対象に、3年間で計10万人の登録を計画している。

推計被曝線量に関するデータは、エコチル調査に参加する妊婦らの同意を得た上で提供を受ける。

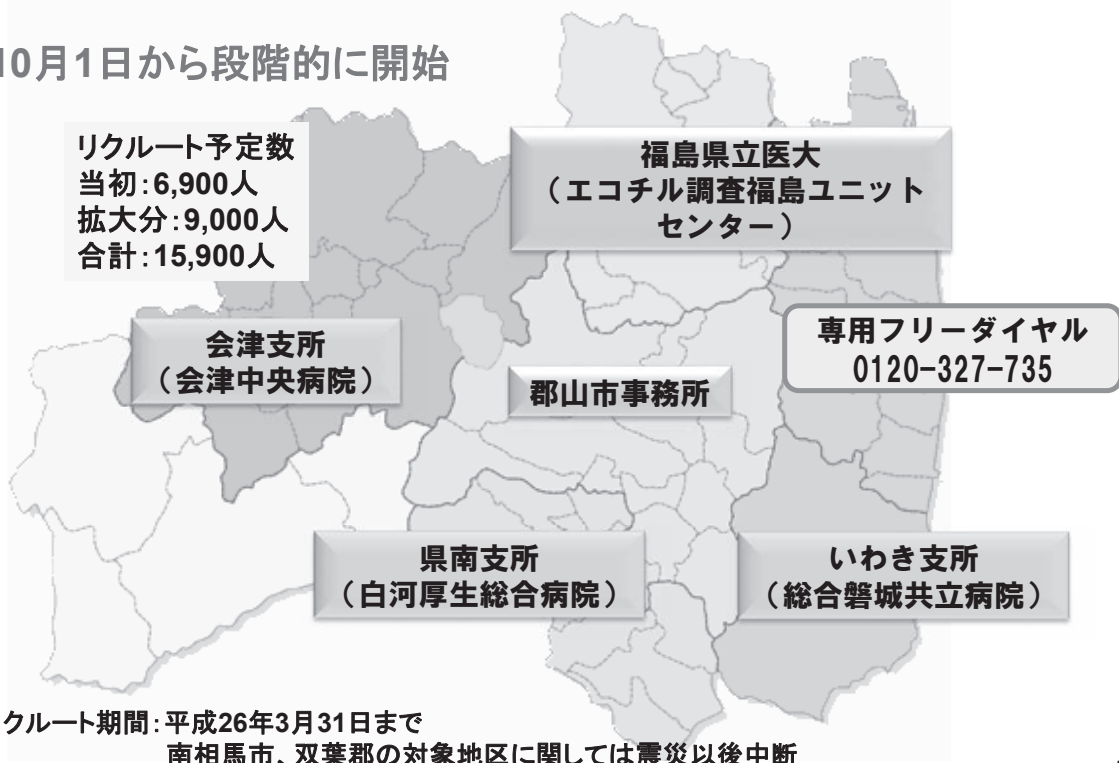
新たな調査はせず、県民健康管理調査の基本調査の外部被ばく線量推計データを本人同意のもとエコチル調査にリンクさせていただく。

福島ユニットセンターの協力体制



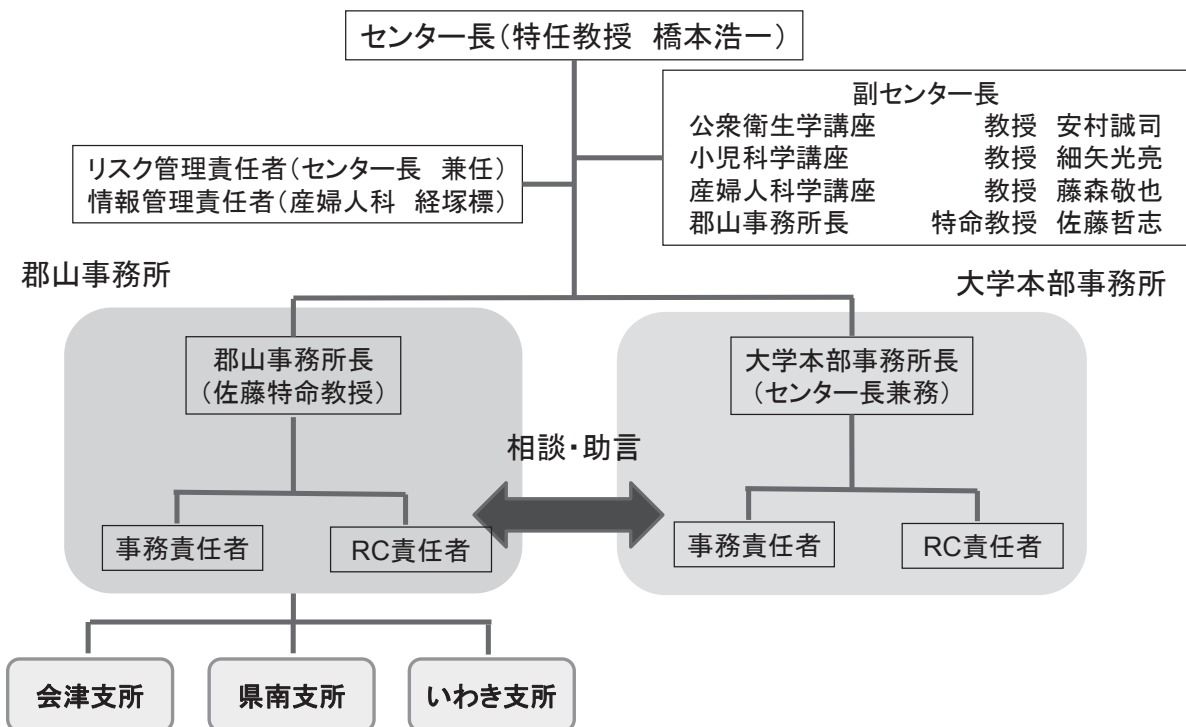
全県化の調査地域・拠点

10月1日から段階的に開始



5

福島ユニットセンター 組織図



福島全県化の概要

平成24年10月から、順次、福島県の全市町村でリクルート開始。

	平成24年9月まで	平成24年10月から 福島全県に拡大
調査対象地域	14市町村	59市町村
協力医療機関	18機関	51機関（平成25年1月31日現在）
リクルート(*注) 予定人数	6,900人	15,900人 【=当初 6,900人+拡大 9,000人】
リクルート期間	平成23年1月～ (3年間)	平成24年10月～ (1年半)

※ リクルート：参加者を募集すること



7

産婦人科協力医療機関

産婦人科協力医療機関が、18 機関から 51 機関に。



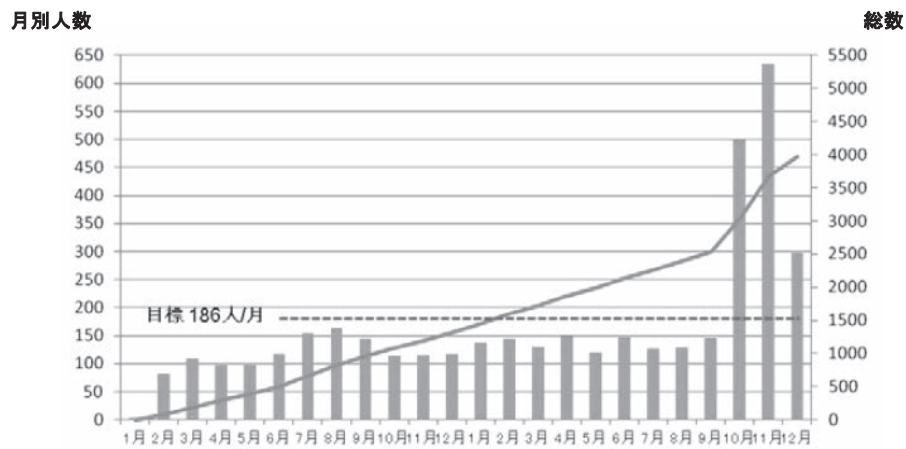
	平成24年9月まで	平成24年10月以降(※)
県北	12	16
県中	—	11
県南	—	4
会津	—	4
相双	6	7
いわき	—	9
合計	18	51

※平成25年1月31日現在



8

福島県内のリクルート数の推移



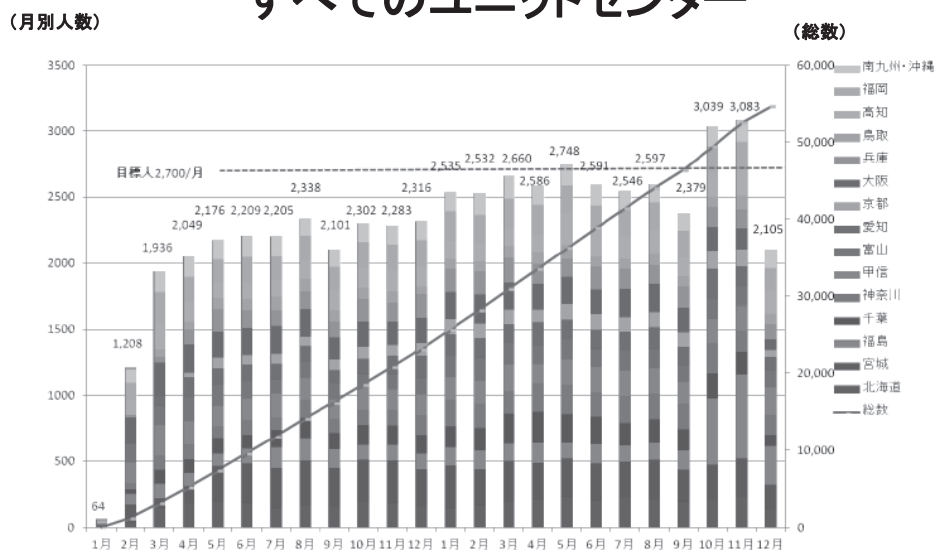
平成25年1月15日 web会議資料

母親参加者数:4203人、母親同意率:78.9%(平成25年1月4日現在)
子ども登録者数(出生数):1908人

9

リクルート数の推移

すべてのユニットセンター



平成25年1月15日 web会議資料

母親同意者数:54,588人(同意率78.0%)、子ども登録者数:33,620人

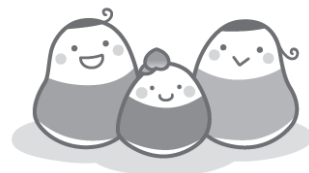
課 題

震災の多面的な影響

放射線障害への不安 リスクコミュニケーション 支援体制の確立

単なる調査では受け入れられない
いかに参加者に寄り添うか
寄り添い子育てを支援する
心の安らぎを求めている

協力体制
参加者、県民への説明
関係機関との協力体制の整備



11

放射線に対する不安に対して

平成23年7月

対象: 協力医療機関スタッフ、エコチル関係者

講演「放射線の正しい知識」

福島県放射線健康リスクアドバイザー 山下俊一 先生

全協力医療機関に本を配布

平成23年10月

対象: 妊婦およびその家族、エコチル関係者

講演「胎児・子供の放射線影響を考える」

(独)放射線医学総合研究所

発達期被ばく影響研究プログラムリーダー

医療被ばく研究プロジェクトリーダー

島田義也 先生



12

一緒に絵本を楽しもう



やさしい絵や言葉はママ・パパの心へ安らぎを



ふくしまFM 月～木曜日 16:45～16:55 番組提供

13

ニュースレター (参加者限定、年2回)

[illegible]

14

23. 6月から2ヶ月毎

[illegible][illegible]

15

平成24年
6月, 8月, 12月に開催



■ エコチル調査に参加すると ■

- 子どもの成長を一緒に見守る
- 血液や尿の一般検査の結果をお返りする
- 子どもや両親の健康管理に役立つ情報をお知らせする
(メルマガ、ニュースレターなど)
- 子育てに関する相談や専門機関への紹介などをする
- 研究成果をお知らせする
- 調査の内容に応じて謝礼を支払う



エコチル調査への お問い合わせ先

エコチル福島ユニットセンター

TEL: 024-547-1449 FAX: 024-547-1448 (大学内)
TEL: 024-983-4780 FAX: 024-983-4751 (郡山事務所)
専用フリーダイヤル: 0120-327-735

ホームページ: <http://www.ecochil-fukushima.jp/>

携帯サイト: <http://www.ecochil-fukushima.jp/m/>

エコチル調査コアセンターホームページ
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>

